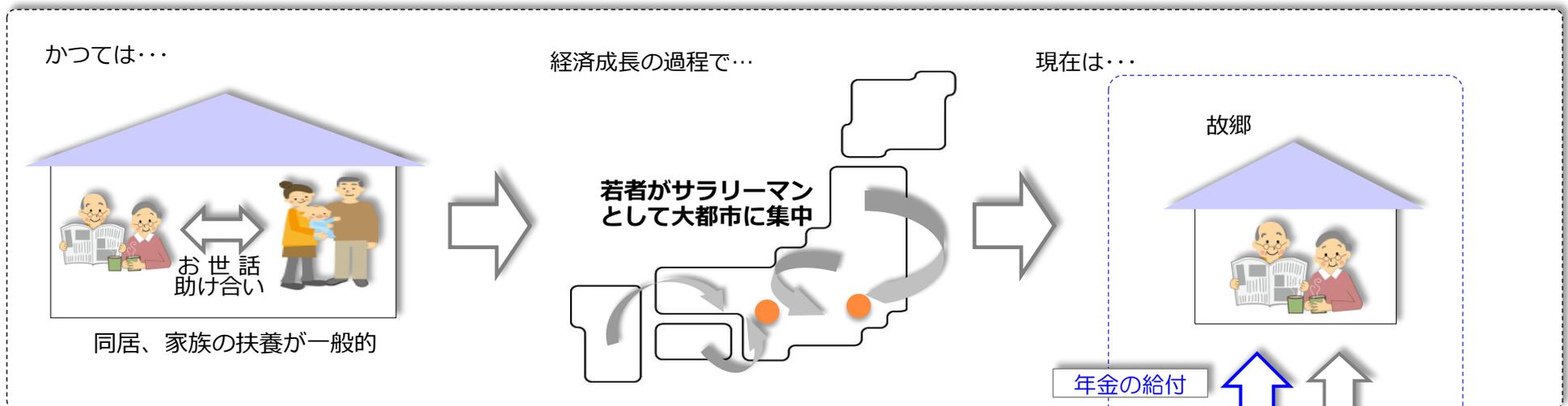


公的年金制度が整備されてきた背景

かつては、親と同居して農業や自営業をともに営む人が多く、自分で親を養っていた。経済成長の過程で、親と別居して都市で働く人が多くなったため、自分で親を養うことが難しくなっていた。こうした社会変化の中で、社会全体で高齢者を支える公的年金制度が整備された。

▶公的年金制度によって、親の扶養のための費用負担が軽減されている。



家族をめぐる代表的な変化

	過去 (1960年)	現在 (2010年)
三世帯同居世帯数 ※	411万	244万
高齢者単身世帯数	13万	479万
家族の人数 (人)	4.47	2.42
平均寿命 (歳)	男65.32 女70.19	男79.55 女86.30
サラリーマンの割合 (%)	53.4	87.3

※ 三世帯同居世帯数とは、「夫婦と子どもと両親から成る世帯」と「夫婦と子どもと片親から成る世帯」をいう。

(出典：総務省「国勢調査」、厚生労働省「完全生命表」、総務省「労働力調査」)